

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

【様式1】

## 令和7年度 校長経営戦略支援予算学校配付申請書

(校園コード 682511 )

※校園コードを必ず入力してください。

学校名 大宮中学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額 669,000 円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級及び通級による指導の開設校(1開設1学級とみなす)	学級配当
350,000	+ 7学級	4学級	29,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。			
配付上限額	= 669,000		

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 80.3%
○校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 72.0%
○年度末の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。 R6 : 38.2%
○授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の50%以上にする。 R6 : 0.7%
目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容② ゲストティーチャーを招いての人権学習を実施する。
取組内容③ hyper-QU調査を実施し、安心して過ごせる学級づくりを推進する。
取組内容⑤ 1年生において、班活動をメインとした校外学習を実施する。
取組内容⑥ 特別支援教育にかかる教材の整備を進め、インクルーシブ教育の充実を図る。
取組内容⑧ 総合的読解力の育成に向けた取組を進めるために、教材・教具を整備する。
取組内容⑫ タイピング技術の向上を通じて、ICT機器の活用を推進する。

## 5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- 校内調査における「生命や人権を尊重する意識を育てる取り組みがある」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 96.8%
- 校内調査における「学校生活が楽しい」に対して肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 92.4%
- 校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 72.0%
- 校内研修後に実施する調査において「今後の教育活動にいかすことができる」の項目に対して、肯定的回答をする教職員の割合を80%以上にする。 R6 : 未実施
- 校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしているか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 82.2%
- 校内調査における「ICT機器の活用を通じて、基礎・基本の定着と学力向上に向けた取組をしている」に対して、肯定的回答をする教職員の割合を前年度と同水準にする。 R6 : 100%

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

## 6 昨年度からの改善点など ※自由記入

- 特別支援教育にかかる教材の整備を進め、インクルーシブ教育の充実を図る。
- 総合的読解力の育成に向けた取組を進めるために、教材・教具を整備する。

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1) 取組内容【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>人権を尊重する教育の推進 ○学年ごとに主となる学習内容を設定し、平和教育、その他の人権課題を3つの柱とし、3年間を通した人権教育の充実に努める。 ○各学年での学習とともに、年3回の人権集会、自主活動、また日常の授業において人権感覚の育成を図る。</p>		達成
<p>① 予算内訳</p> <p>7-1 人権学習にかかる講師謝礼（人権教育） 14,200円 7-1 人権学習にかかる講師謝礼（多文化理解） 14,200円 7-1 人権学習にかかる講師謝礼（性教育） 14,200円 7-1 人権学習にかかる講師謝礼（情報モラル） 14,200円 計 56,800円</p>		
<p>② 決算内訳</p>		
<p>(2) 取組内容【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>「学びあい」「支えあい」「認めあい」ができる集団の育成 ○協働的な学びを推進し、生徒自身が楽しみや喜びを感じる教育活動の推進を図る。 ○生徒の自尊感情を高める言葉掛けを大切にし、自分も他者も大切にし、支えあう気持ちを育む。 ○互いを認めあい、ともに生きる力を育む学級づくりを進める。</p>		達成
<p>① 予算内訳</p> <p>12 hyper-QU調査 @480円×225人×2回=216,000円 計 216,000円</p>		
<p>② 決算内訳</p>		
<p>(3) 取組内容【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>キャリア教育・進路指導の充実 ○カリキュラムマネジメントを行いながら、基礎的・汎用的能力の育成を図る。 ○体験的な活動の充実を図り、自己有用感、自己肯定感の育成をめざす。 ○生徒一人一人が、自分の将来の生き方への関心を深め、自分の能力・適性等の発見と伸長をめざし、夢や目標をもてる進路選択ができるよう指導を行う。</p>		達成
<p>① 予算内訳</p> <p>11-1 1年生体験活動にかかる交通費 @820円×93人=77,900円 8-5 1年生体験活動にかかる下見及び引率交通費 @820円×12人=9,840円 13-1 体験活動にかかる施設使用料（1年生校外学習） @1,000円×105人=105,000円 計 192,740円</p>		
<p>② 決算内訳</p>		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

7. 取組内容・予算内訳

<p>(4) 取組内容【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>インクルーシブ教育の充実</p> <p>○特別支援教育に関する校内研修を実施し、教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る。</p> <p>○教室等の環境整備を見直し、支援体制の充実を図る。</p> <p>○生徒の学習への意欲の向上や自信を持つことにつながるよう、スマールステップな指導内容、指導方法を工夫する。</p>		達成
<p>①予算内訳</p> <p>10-1 特別支援教育にかかる教材・教具 2,908円 計 2,908円</p>		
<p>②決算内訳</p>		
<p>(5) 取組内容【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <p>○ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を積極的に行う。</p> <p>○相互授業参観を充実させ、指導方法の工夫を進める。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等の総合的読解力の育成をめざす。</p>		達成
<p>①予算内訳</p> <p>12-1 読むYOMUワークシート @300円×230人=69,000円 10-1 学習用タイマー @8,228×9=74,052円 計 143,052円</p>		
<p>②決算内訳</p>		
<p>(6) 取組内容【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>ICTを活用した教育の推進</p> <p>○毎朝各学級で、朝の学活時に「心の天気」の入力をすることで、安心して過ごせる教室環境づくりを進めます。</p> <p>○ICT機器を活用し、生徒の実態に応じた指導方法の工夫・改善を行い、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>○ICTに関する教職員研修を実施し、情報モラルの向上を図る。</p>		達成
<p>①予算内訳</p> <p>11-4 パソコン入力検定受検料 @250円×230人=57,500円 計 57,500円</p>		
<p>②決算内訳</p>		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。